臺灣日日新報 昭和七年二月二十六日（金曜日） 第一万一千四百五十一號 (一)

臺灣吉兆新年 (号外)

二月二十五日

我軍砲門を開き 中央部隊前進を開始

前線は日下戰酣

【上海二十五日發電通】蘇州空中戰の結果に依り米國人が支那飛行隊に參加してゐる事明白となり村井總領事は二十四日午後五時半米國總領事宛文書を以て米國人が個人の意思に依るとは言へ日支間の問題に直接參加するは頗る遺憾である故今後かゝる分注意されたいと抗議した

【上海二十四日發電通】我軍砲門を開き中央部隊前進を開始したのは二十五日午前十時より一齊に砲門を開き前線にては機關銃、小銃の音酣である、當地は朝來快晴の小春日和で航空隊の活躍目覺しく中央部隊は前進を開始した

小野○團の移動完了

【上海二十四日發電通】植田○團長は左翼の小野○團を○○○に出動して中央軍と對峙せる現在の位置の優右翼とする戰線整理を命じ全部隊の移動を完了午後二時○○○

我○○○隊は昨日 前線に出動を開始

將士の士氣は愈よ揚る

【上海二十四日發電通】我○○○隊は午後四時○○司令部附近を通過して前線に出動を開始した、夕闇迫ると共に前線の銃聲は一層激しさを加へ午後五時頃から砲聲は愈よ盛んとなつた、我將士の士氣は愈よ揚り劍々燃れと吹卷くる寒風に舞ふる砂塵中を後續部隊は犬々と前線に進み○團司令部附近は色めき立つてゐる

昨夜閘北で猛烈な砲戰

飛行機と協力し 閘北戰線を攻撃

【上海二十四日發電通】陸戰隊○砲隊は敵陣制壓のため夜陰を衝いて午後九時より一齊の敵陣地に對し射擊を開始したが敵は十時頃より漸く靑雲路廣場陣地より砲擊應射し午後十時半猛烈な砲戰を行つてゐる

【上海二十四日發電通】○艦隊發表、本日午前中警備は濱行隊と共に閘北上海ステーション線に對し警戒を加へた

上海沖で米國船に救はれた我航空兵曹

優遇されてマニラに入港

遭難當時の模様を語る

（マニラ本社通信員發）海軍航空隊の一機が二月五日上海の××飛行場から××に向け飛行中××の××沖に墜落、乗組の××兵曹が××の××に救はれ二月十一日マニラに入港、優待されたが、同兵曹は十二日午後マニラ發××丸で歸朝の途に就いた、此の日は旧天長節に當るので、同兵曹は××丸上で××の祝賀會を開いて貰ひ、××丸船長から××の贈物があつたが、同兵曹は××丸船長の××に對し左の如く當日の模様を語つた

私は××××××

残月雲間

高木彬光作
山方石田画

（三）

鉄柵にしがみつく男

見出しにつられて集まってきた人々

妖怪退治神

（六）

志摩小夜子作
小林秀吉画

金魚

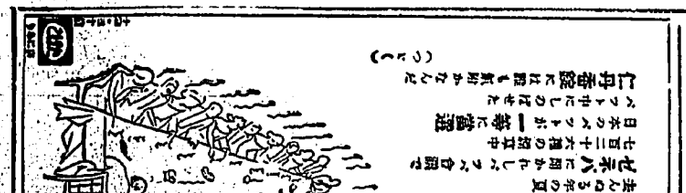
（作曲）
小林秀吉

十銭一口

◆銀座一丁目　十銭一口本店
◆銀座八丁目　十銭一口支店
◆新宿三丁目　十銭一口支店
◆池袋駅東口　十銭一口支店
◆上野駅前　十銭一口支店

万病一切妙薬

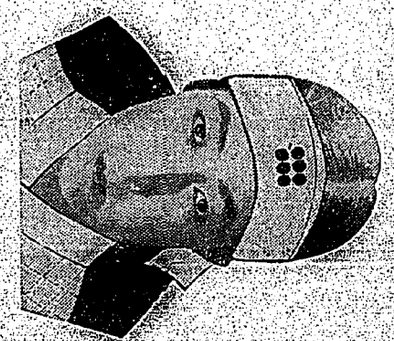
正露丸



便利相良

卓上用

計算器



計算尺

（セルロイド製）

万年筆

鉛筆

学用品

画材

図画

製図

文具

雑貨

玩具

時計

貴金属

宝石

眼鏡

楽器

蓄音機

自転車

自動車

飛行機

船舶

汽車

電車

地下鉄

飛行船

潜水艦

軍艦

戦車

大砲

機関銃

小銃

拳銃

弾薬

軍服

軍帽

軍靴

軍刀

軍旗

軍隊

兵隊

将校

士官

下士官

兵卒

新兵

古兵

予備役

後備役

召集

入営

除隊

帰郷

凱旋

戦死

戦傷

戦病

戦没

殉職

殉国

忠魂

英霊

靖国神社

護国神社

忠霊塔

慰霊祭

招魂祭

合同葬

国葬

国旗

国歌

国民

国家

国防

国土

国境

国交

国際

国連

国際連盟

国際連合

国際連合軍

国際連合軍総司令部

国際連合軍総司令部軍政局

国際連合軍総司令部軍政局民政課

国際連合軍総司令部軍政局民政課長

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図終

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図了

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図完

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図終了

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図完了

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図終了完

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図了完

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図終了了

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図完了了

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図終了了完

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図了了完

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図終了了了

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図完了了了

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図終了了了完

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図了了了完

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図終了了了了

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図完了了了了

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図終了了了了完

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図了了了了完

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図終了了了了了

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図完了了了了了

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図終了了了了了完

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図了了了了了完

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図終了了了了了了

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図完了了了了了了

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図終了了了了了了完

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図了了了了了了完

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図終了了了了了了了

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図完了了了了了了了

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図終了了了了了了了完

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図了了了了了了了完

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図終了了了了了了了了

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図完了了了了了了了了

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図終了了了了了了了了完

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図了了了了了了了了完

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図終了了了了了了了了了

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図完了了了了了了了了了

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図終了了了了了了了了了完

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図了了了了了了了了了完

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図終了了了了了了了了了了

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図完了了了了了了了了了了

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図終了了了了了了了了了了完

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図了了了了了了了了了了完

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図終了了了了了了了了了了了

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図完了了了了了了了了了了了

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図終了了了了了了了了了了了完

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図了了了了了了了了了了了完

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図終了了了了了了了了了了了了

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図完了了了了了了了了了了了了

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図終了了了了了了了了了了了了完

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図了了了了了了了了了了了了完

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図終了了了了了了了了了了了了了

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図完了了了了了了了了了了了了了

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図終了了了了了了了了了了了了了完

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図了了了了了了了了了了了了了完

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図終了了了了了了了了了了了了了了

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図完了了了了了了了了了了了了了了

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図終了了了了了了了了了了了了了了完

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図了了了了了了了了了了了了了了完

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図終了了了了了了了了了了了了了了了

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図完了了了了了了了了了了了了了了了

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図終了了了了了了了了了了了了了了了完

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図了了了了了了了了了了了了了了了完

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図終了了了了了了了了了了了了了了了了

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図完了了了了了了了了了了了了了了了了

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図終了了了了了了了了了了了了了了了了完

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図了了了了了了了了了了了了了了了了完

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図終了了了了了了了了了了了了了了了了了

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図完了了了了了了了了了了了了了了了了了

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図終了了了了了了了了了了了了了了了了了完

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図了了了了了了了了了了了了了了了了了完

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図終了了了了了了了了了了了了了了了了了了

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図完了了了了了了了了了了了了了了了了了了

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図終了了了了了了了了了了了了了了了了了了完

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図了了了了了了了了了了了了了了了了了了完

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図終了了了了了了了了了了了了了了了了了了了

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図完了了了了了了了了了了了了了了了了了了了

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図終了了了了了了了了了了了了了了了了了了了完

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図了了了了了了了了了了了了了了了了了了了完

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図終了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図完了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図終了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了完

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了完

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図終了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図完了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図終了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了完

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了完

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図終了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図完了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図終了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了完

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了完

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図終了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図完了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図終了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了完

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了完

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図終了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図完了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図終了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了完

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了完

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図終了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図完了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図終了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了完

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了完

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図終了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図完了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図終了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了完

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了完

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図終了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図完了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図終了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了完

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了完

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図終了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図完了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図終了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了完

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了完

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図終了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了

国際連合軍総司令部軍政局民政課長室前廊下突当り右側壁面中央部分全体図完了

漢文臺灣日日新報

中國軍拳銃丹々彈 又日敵陣地輜壕跡發見

二十一日來我軍死傷五百

二十四日上海電。據司令部發表。本日前線數砕交鋒。一面我軍於戰闘地域內繼續掃蕩○團司令部附近便衣隊○相當有效果。辻午告終。本日午後○我軍所占江灣廟東南敵陣地、繁雑錯。發見二十二番型自動発銃丹一門。定數者。約五百名。其中死者與負傷者。一對五之割云。

比島總督代理發令 禁琨港以外不許入 蓋防邦僑之變

二十四日馬尼拉電。比律賓代理總督。烏內巡視既終歸府後。直發令後照美國移民法。外國人入比律賓限馬尼拉一港命令。結果爲東洋人排斥法支配之日本人防御從來。禁止琨拉港入國。據代理總督所言如左。既有二萬二千日本人。一朝有事。恐爲日本軍要軍事根據地。現日本政府。最近昇拉老領事分館爲領事館云々。

鎌田中將 夫妻離臺

軍部將校送行

臺灣守備隊司令官鎌田彌平三郎中將夫妻。搭去二十四日出港福元丸。司令官。仁禮參北陸要塞司令官。林憲第一聯隊長。車司令部及守備隊。幹部將校二十餘名送行。中將在客室。對送行之人敘禮。略謂昨夜九時半。接到陸相命令。上京出席。乃搭本西螺丸。細述辭令。大體川務尚未知。後任之事。大合言及。故到東京後。始言。余爲本島守備隊司令官。在任一年半。雖得盡力之處。甚短期。却遭意外事件。竝多不便。甚感遺憾。然如通信機關。一般街氏。亦成望速爲補修完成。

新竹郡海岸 烏賊豐漁

新竹郡下各地。烏賊豐漁。竹南街。蟹子埔。崎頂。海山口。中港。去二十一兩日。海面波靜。出洋之發動機漁船。皆滿載而歸。烏賊每日。至午後。陸續到着。二十二日午前。竹南街。蟹子埔。崎頂。海山口。中港。各漁船。

(一) 第一五、一四二、一二三號 (日曜金) 報知新聞 昭和六年十二月二十五日 (紀元二千五百九十一年十月廿四日) (第聖降誕)

中央公論

新年號

定價八十錢 〒九錢 東京中央公論社

井上準之助一代記

一代の財界巨頭、井上氏の生立ちから彼が政相となり、金融資本の代弁者として、花々しく動つた六十年の人間史を写く生彩の井上氏の真姿を彷彿たらしむるものだ！

白柳秀湖

神兵隊事件

憲政の常道と暴力の否定

美濃部達吉

立憲政友会の総裁を中止した私の心境

武藤山治

満洲問題

米・獨大統領は誰に贈る

（巴里通信）

食魔

万葉講義

吉論

馬場恒吾

望展線戦職就

大山郁夫氏を歐米へ特派す！

総グラビヤ説明付録!!

この大作は勿論サラリーマンも是非一冊を要する就職時代だ！これだけは読まれよ！

この失業者を見よ！

総選挙とファッショ運動

山川均

新聞紙学

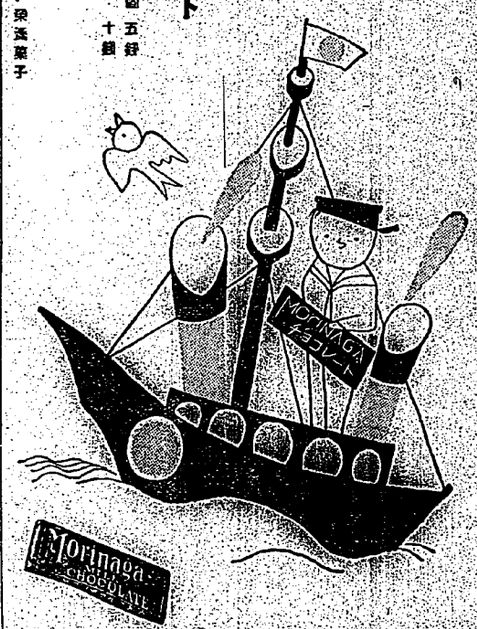
就職戦線異状なし

仁丹香錠

何げなく君にもらひて
口にせし
香錠いまだ忘れねかな

十錢・三十錢

森永チヨコレート



チヨコレートは健康のパイロット

一個五銭 十錢

お子様の強壮に一番よい栄養菓子

赤玉葡萄酒

召上れ！食前の一杯能く食欲を増し食後の一杯精神を爽快ならしむ

特に産前産後の婦人は補血滋養剤として母體の營養を増し胎兒の發育を佳良ならしむ

請喝一杯這是生命之源泉、活力之根元

王冠赤十字葡萄酒飲用之後、於胃部覺溫暖、刺戟胃腸、食慾亢進能增胃腸液之分泌、補血滋養強精、恢復慢性及急性衰弱狀態及營養不良、身體疲勞、遺精盜汗、經水不調等諸症

特爲産前産後之婦女補血之藥効絶大

並補腎强精之神効無比眞可驚也

傳染病院 臺灣研究所 陸軍病院 總督府 衛戍病院 御用

守田治兵衛 東京市下谷區仲之町

中村左兵衛門 東京市下谷區仲之町

發賣元 株式會社 大黒屋本店

全島到處各藥房各洋酒食料品代理店

明治大學

大學部 法科 政治經濟科 商科 文學部 專門部 法科 政治經濟科 商科 女子部

高速度滋養料 ビリの

飲めばすぐ血となり精力となる

建物賣却

有明町元萬華分署

右取拂ノ爲メ入札ヲ以テ賣却

入札期日 昭和六年一月廿六日

臺灣土地建物株式會社

白雪餅

物品購買公告

三菱海運船舶

日本郵船船舶

仕事

訃報

就職者

新刊

東京放送局

株式會社

總會

會計

社告

廣告

通信

人事

公告

會社

廣告

會社

廣告

會社

廣

愈よ總攻撃に開始
空陸一齊に
江灣一帶砲聲殷々！

（上海二十五日發聯合）總攻撃愈々開始され午前八時半江灣一帶砲聲殷々激戰展開された

（上海二十五日發電通）江灣方面總攻撃開始と共に我飛行機○臺は午前七時出動卅分に亙り閘北一帶の敵に爆撃を加へた

（上海二十五日發聯合）午前七時我飛行機が敵陣地偵察爆撃を開始すると共に我野砲隊は七時四十五分より敵陣地に向つて一齊に火蓋を切つた

各所に大火災起る
我砲の命中的確に
敵算を亂して潰走

【上海二十五日發聯合】我總攻撃開始と同時に江灣鎭に大火災起り目下盛んに延燒中

【上海二十五日發聯合】午前十時愈々總攻撃開始、○○砲の猛撃で廟行鎭市街に大火災を起し敵は西方に向け敗走、我飛機はこれに爆撃を加へ歩兵部隊の突撃準備成る

【上海二十五日發電通】午前九時半我軍の總攻撃最も猛烈を極め我が右翼に對する敵陣地は我軍の砲撃に黒煙を揚げてゐる

敵の殘敵の死命
我軍の手に歸す
空閑少佐の弔合戰に成功

【上海二十五日發聯合】我總攻撃開始と同時に江灣鎭に大火災起り目下盛んに延燒中

【上海二十五日發聯合】午前十時愈々總攻撃開始、○○砲の猛撃で廟行鎭市街に大火災を起し敵は西方に向け敗走、我飛機はこれに爆撃を加へ歩兵部隊の突撃準備成る

【上海二十五日發電通】午前九時半我軍の總攻撃最も猛烈を極め我が右翼に對する敵陣地は我軍の砲撃に黒煙を揚げてゐる

江灣鎭の殘敵の死命
全く我軍の手に歸す
空閑少佐の弔合戰に成功

【上海二十五日發電通】司令部發表我軍は午後三時二十分後郭家宅を完全に占領した

【上海二十五日發聯合】午前十一時半完全に敵の第二線も大動搖を來して退却

【上海二十五日發電通】午前十一時頃より我軍は總攻撃を開始し敵の殘敵の死命を制した

【上海二十五日發電通】午後一時四十分頃江灣鎭の北方約一キロの地點に見馴れぬ敵の一部隊が現はれたので我軍は直ちに猛砲撃を加へ全軍を潰滅させた敵兵の携帶せる書類に依りでの部隊は江灣鎭から脫出逃走中のものと判明した我軍の觀測では江灣鎭の殘敵はあと二、三百と見られてゐる

中央突破に成功
敵の第一線を占領
第二線も大動搖を來して退却

（上海二十五日發聯合）我軍は二十五日午前十一時堵家宅を占領、同十一時半完全に敵の中央陣地第一線を占領して中央突破に成功、敵の第二線は爲に大動搖を來たし退却中

二十五日の總攻撃戰況
敵の第一線を突破し
德野○隊の活躍を見る

電通記者の從軍記

【上海二十五日發電通】二十五日午前八時三島○隊の○○砲の巨砲砲撃を開始するや、金澤○隊も○○門の砲門を開き敵陣地を猛撃したので九時十五分敵は浮足立ち潰走し始めた之を見た我砲兵隊は潮次著彈巨砲を延し退撃し十時更に敵の中間陣地破壞の爆撃を開始した

【上海二十五日發聯合】二十五日の戰況に付き司令部發表左の如く發表した

○團は二十三、四日閘北に攻撃來中止なり本攻撃に於ける砲兵陣地の配置を變更し正面の敵に對し攻撃を開始せり、陸海空協同作戰の全力及び國民の士氣を擧げて先づ敵を制壓し其の效果を待つて中央部には空軍を開始し午前十時半金家宅を占領し午後一時四十分頃江灣鎭の北方約一キロの地點に見馴れぬ敵の一部隊が現はれたので我軍は直ちに猛砲撃を加へ全軍を潰滅させた敵兵の携帶せる書類に依りでの部隊は江灣鎭から脫出逃走中のものと判明した我軍の觀測では江灣鎭の殘敵はあと二、三百と見られてゐる

【上海二十五日發聯合】午前八時三島○隊の○○砲の巨砲砲撃を開始するや、金澤○隊も○○門の砲門を開き敵陣地を猛撃したので九時十五分敵は浮足立ち潰走し始めた之を見た我砲兵隊は潮次著彈巨砲を延し退撃し十時更に敵の中間陣地破壞の爆撃を開始した

敵の後方連絡を絶つ
鐵道線路を爆破して
壯烈なる追撃戰展開

【上海二十五日發聯合】今朝十時我軍は敵の後方連絡を絶つため廟行鎭北方に出張鐵道線路の爆破、鐵橋を破壞し、逃げ遲れた敵の殘兵を捕へ之を銃殺した

【東京 十五日發電通】海軍省發表、○○飛行隊は二十五日早朝より○○の爆撃に赴き、○○飛行隊は今や廟行鎭より江灣鎭西方に南北連れて堅固を誇る敵のペトン堅壘も我野戰攻城銃砲の威力に破壞され堵家宅、金家宅を占據し、我前線部隊は今や廟行鎭より江灣鎭西方に南北連れて一直線をなすに至り今追撃戰展開中

敵の後方連絡を絶つ
鐵道線路を爆破して
壯烈なる追撃戰展開

堅固を誇るペトン堅壘も我砲の威力で破壞

【上海二十五日發聯合】さしも堅固を誇る敵のペトン堅壘も我野戰攻城銃砲の威力に破壞され堵家宅、金家宅を占據し、我前線部隊は今や廟行鎭より江灣鎭西方に南北連れて一直線をなすに至り今追撃戰展開中

後郭家宅を占領

【上海二十五日發聯合】二十五日午前九時四十分後郭家宅を一擧占領した

【上海二十五日發電通】二十五日午前九時四十分後郭家宅を一擧占領した、之が爲め午後一時四十分後郭家宅を一擧占領した、之が爲め午後一時四十分後郭家宅を一擧占領した

敵の砲陣を粉砕

【上海二十五日發電通】我が○砲、○砲、○砲の命中率百パーセント敵軍は本日午前九時十五分より全線に亙り總退却を開始し大場鎭に向け潰走中

【上海二十五日發電通】敵總退却するや午前十時步兵部隊は總攻撃に移り前原、小野、下元各○團は轡を並べて潰走する敵を追撃中

【上海二十五日發聯合】今朝十時我軍は廟行鎭に向つて喊聲をあげて突撃に移り敵は大場鎭に向け算を亂して退却を開始し我○砲、○砲は射撃距離を百、二百と仲しこれを追撃し著彈確實で非常な效果を收めた

敗走の敵を目
壯烈なる追擊戰展開
堅固を誇るペトン堅壘も
我砲の威力で破壞

【上海二十五日發聯合】さしも堅固を誇る敵のペトン堅壘も我野戰攻城銃砲の威力に破壞され堵家宅、金家宅を占據し、我前線部隊は今や廟行鎭より江灣鎭西方に南北連れて

江灣鎭の敵の砲陣を粉砕

【上海二十五日發電通】西岡少佐の砲兵○隊が前線の敵に猛烈な砲火を浴せた時、江灣鎭の北側から我軍の行動を阻止せんと敵の砲兵が砲撃を始め、我砲兵隊は直ちに反撃し敵の砲陣を粉砕した、之がため江灣鎭の敵約千五百は同地を捨て西方に潰走した

後郭家宅を占領

【上海二十五日發聯合】二十五日午前九時五十分德野○隊は後郭家宅の敵に突撃を試みこれを占領した

【上海二十五日發電通】午後一時四十分後郭家宅を一擧占領した

【上海二十五日發聯合】今朝十時我軍は廟行鎭に向つて喊聲をあげて突撃に移り敵は大場鎭に向け算を亂して退却を開始し我○砲、○砲は射撃距離を百、二百と仲しこれを追撃し著彈確實で非常な效果を收めた

敵の後方連絡を絶つ
鐵道線路を爆破して
壯烈なる追擊戰展開

【上海二十五日發聯合】午前八時我が遊撃隊は敵の後方連絡を絶つため廟行鎭北方に出張鐵道線路の爆破、鐵橋を破壞し、逃げ遲れた敵の殘兵を捕へ之を銃殺した

【東京 十五日發電通】海軍省發表、○○飛行隊は二十五日早朝より○○の爆撃に赴き、○○飛行隊は今や廟行鎭より江灣鎭西方に南北連れて

開北一帶を砲撃

台北高等商業學校
入學期用學生帽子學生鞄
通學用合羽女學生長靴千深ゴム靴
▼學生さんの新調は品の富◇
▼入學祝の御贈品は一級の
◇村井商行
臺北市榮町二ノ二 電話二ノ二

坚牢で安いが日本一
セーラー軍帽
臺北ホテル

◆新春の洋服地
多谷利物
◆大倉本店
◆江戸生粋の履物類と日傘の何揃ひ

●洋酒專門
最上清

學生用
背嚢と靴
天森商會

日金洋傘新荷著
三和洋傘店
正確な眼鏡は專門店で
和田
電話四二五〇

蓮見利一
◆合物◆セル◆春モス◆ネル◆
特價品
◆雛人形◆春の帶留◆小供服地各種◆
大豐富

自慢
金庫の藤川
臺北市

◆時計修理は時計と眼鏡の
武内時計店

王妃石鹸

學生靴と鞄
靴と鞄
バラックから物向ひに移轉して新品豐富揃へました
加納屋靴店

◆レインコート◆深ゴム靴◆雨傘◆洋傘
防水マント◆雨合羽其他雨具一式
▼近頃雨天に雨具の御用は
◇村井商行
▼臺北榮町の

高級酒
黒松白鹿

◆レインコートに洋傘
雨具の御用は大倉本店て
◆防水マントにゴム靴

陸軍記念日と飛行聯隊の大活動

時節柄模擬戰も緊張　眞劍な態度でやる

春光を浴びて

來月上旬高雄に南部相撲大會

新樣式の審判法で擧行

兵器獻金への臺中州下の熱誠

豫定額の二倍に達す

臺南州農會蔬菜現地品評會

褒賞授與式擧行

屏東地方の寒氣逆戻り

百姓は一喜一憂の態

長官と臺中の日程

嫉妬の刃

金山の惨ぎ

種痘の日割

臺南市內の分

將軍庄の火事

北港郡の産組事務研究會

平均九割七分といふ意外な好成績

東石郡の徵稅成績

斷崖から落ちて慘死

對岸狀況

要港部發表

燈火管制は二日間引つづき擧行

東石郡下の飛行場候補地

後藤飛行第八聯隊長一行實地視察す

桃園、中壢、大溪二郡の納稅成績

前期より七分增

高雄州聯合保甲壯丁團檢閱

參加十六團八百餘名

釣錢詐欺漢捕まる

大阪の者、餘罪ある見込

曾文、虎尾兩郡の街庄豫算認可さる

第七回音樂會

三月十二日開催

花蓮港信用組合事務所新築

高雄州敎育會主催

嘉義新谷呉服店からの

北港郡の畜産事業視察團

臺中州水產會

廿五日總會

慈善本位の同愛病院の創設

四月一日より嘉義に開く

嘉義市內卒業式日割

北投公學校學藝會

廿七日開く

臺北話題

蘭宜

親の不注意

いたいけな幼兒の死

果物を喉に詰らして

庄のために架橋

元長庄の美譚

葬儀費を節約して

高雄酒煙草組合

景品抽籤會

花蓮港廳下卒業式日割

肺結核

これこそ尊く美しき獻金

感心な觀音公學校の一年生

研究社　英語通信學座　毎月壹圓　●本記册二●

英語は現代人の幸と不幸の岐路

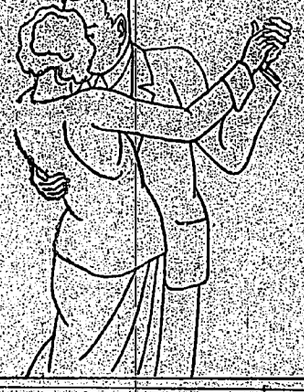
春風來吹くや本郷座の春風の如く不斷に獨學者に志を得よ萬里を君の同じく十二日を以て卒業す君の早きを貴ぶ君の勉強は毎日二時間

東亜の謎

（203）

作者　国枝史郎
挿絵　伊藤順三

「秘密はいよ〳〵（三）
「いただきますわ」
と小夜子が云った。
二人はリキュールを飲み合った。
戸外は立派な月夜であった。
月光が部屋の中へ二人迄で来た。
小窓のシャンデリアの白っぽい光とが、蒼白い月の光とが、蒼黒のやみの間隙となって、二人同じの部屋を照らした。
二人は何か話し合はうとした。
何を話したら可いのだらう？
際山話すことがあるのであってさうして何んにも無いのであった。
二人はリキュールを五杯も飲んだ。
二人は迚も何様であった。
お互に眼ばかりを見合って、さうして何方も何も言時になって、
「おそ先生」
と小夜子は云った。
「はい」
と伯はさう云って、驚くやうな眼で小夜子を見た。
「小夜子は何んにも云はなかった。
まつ毛の長い眼を瞬くすばめてなかし眼に伯を見たばかりであった。
伯は困ってまゝ〳〵した。
「……」
で、これも彼を促すし、完全に無意味に窓を見た。
「ねえ」
とやゝあって小夜子が言った。
ひどく重大な何事かを、切り出さうな口調であった。
と、伯はギョッとしたやうに、又驚くやうに小夜子を見、それから小夜子から逃げ出さうと、さう思ってでもゐるやうに、椅子にのせてゐた眼を伸かせた。
「はい」
とひどく苦しさうに云った。
「いいえ」
と小夜子は云ってしまった。
伯のさういふ聞くるしい態度が小夜子の「云ひ出し」を遅いたのであった。
伯は安心したやうな、併し失望したやうな、矛盾した感情を感じた。



茶と酒の話

健康長壽法から

鬼空

茶は眠気や疲労を去って心神を爽快ならしむる必要の時に限って之を用ゐ不要に成るべく普通茶を用ひ、夜は眠気を催す故に成るべく普通茶を用ひ、夜は眠気を催す故に成るべく普通茶を用ひ、夜は眠気を催す故

海運船舶短縮協定

船員の食糧も確保

船舶運営会設立を決定

原案通り協定成る

海運船舶短縮協定

船員の食糧も確保

船舶運営会設立を決定

原案通り協定成る

太田臨時閣議

船員問題に対処

政府責任問題にきまる

船員問題に対処

政府責任問題にきまる

天候問題の真相

貯蓄銀行の

臨時閣議決定

上海船舶の

日本回航を決定

天候問題の真相

貯蓄銀行の

臨時閣議決定

上海船舶の

日本回航を決定

民主党の消滅

自由党の分裂

民主党の消滅

自由党の分裂

商況

米相場	米	一、五七
	大阪	一、五七
	株	一、五七

商況

米相場	米	一、五七
	大阪	一、五七
	株	一、五七

鐵道酒保

花蓮港の

駅構内

鐵道酒保

花蓮港の

駅構内

婦人と家庭

國際理髪師大會で『斷髪新方式』を決議

「長くして耳と頬を出す」事

さきの一般婦人たる斷髪は下火になつたとはいへ實際の所依然として流行の最先端を行く斷髪美容術の研究會ともいふべき第二回國際理髪師大會ではただ同じ斷髪でも子供やうに髪を刈り上げて後頭部から襟足にかけて美しい線を出したのは、最近の斷髪には斷然反對しやうといふことになつた。では斷髪をどの程度に止めるかについて現代婦人の間に斷髪美容術が大流行の今日ところで折合つたのであります。一體の方針は從來の和服から見ましても大體宜しいといふ點と耳は毛でかくさぬこと、ニ、エリクビが適當に白く現へかけでウエーブをかけ後毛にすることは絶對とし、三、前髪は眉毛の上にかゝらぬこと、四、後毛は襟足の美しさを出すやうにすること、五、ウエーブは大體に於て小さ過ぎないこと、六、ウエーブの數は三つ以内とすること、七、ウエーブの線は出來るだけ自然的にすること、八、ウエーブの線は眉毛の上にかゝらぬこと、九、ウエーブの線は耳の上にかゝらぬこと、十、ウエーブの線は耳の下にかゝらぬこと、十一、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、十二、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、十三、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、十四、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、十五、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、十六、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、十七、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、十八、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、十九、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二十、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二十一、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二十二、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二十三、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二十四、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二十五、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二十六、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二十七、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二十八、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二十九、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三十、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三十一、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三十二、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三十三、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三十四、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三十五、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三十六、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三十七、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三十八、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三十九、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四十、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四十一、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四十二、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四十三、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四十四、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四十五、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四十六、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四十七、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四十八、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四十九、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五十、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五十一、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五十二、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五十三、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五十四、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五十五、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五十六、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五十七、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五十八、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五十九、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、六十、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、六十一、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、六十二、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、六十三、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、六十四、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、六十五、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、六十六、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、六十七、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、六十八、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、六十九、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、七十、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、七十一、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、七十二、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、七十三、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、七十四、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、七十五、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、七十六、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、七十七、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、七十八、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、七十九、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、八十、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、八十一、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、八十二、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、八十三、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、八十四、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、八十五、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、八十六、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、八十七、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、八十八、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、八十九、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、九十、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、九十一、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、九十二、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、九十三、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、九十四、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、九十五、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、九十六、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、九十七、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、九十八、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、九十九、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百一、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百二、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百三、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百四、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百五、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百六、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百七、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百八、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百九、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百十、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百十一、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百十二、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百十三、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百十四、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百十五、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百十六、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百十七、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百十八、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百十九、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百二十、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百二十一、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百二十二、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百二十三、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百二十四、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百二十五、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百二十六、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百二十七、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百二十八、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百二十九、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百三十、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百三十一、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百三十二、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百三十三、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百三十四、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百三十五、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百三十六、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百三十七、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百三十八、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百三十九、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百四十、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百四十一、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百四十二、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百四十三、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百四十四、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百四十五、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百四十六、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百四十七、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百四十八、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百四十九、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百五十、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百五十一、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百五十二、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百五十三、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百五十四、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百五十五、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百五十六、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百五十七、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百五十八、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百五十九、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百六十、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百六十一、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百六十二、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百六十三、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百六十四、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百六十五、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百六十六、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百六十七、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百六十八、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百六十九、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百七十、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百七十一、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百七十二、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百七十三、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百七十四、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百七十五、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百七十六、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百七十七、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百七十八、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百七十九、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百八十、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百八十一、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百八十二、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百八十三、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百八十四、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百八十五、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百八十六、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百八十七、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百八十八、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百八十九、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百九十、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百九十一、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百九十二、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百九十三、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百九十四、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百九十五、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百九十六、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百九十七、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百九十八、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、百九十九、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百一、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百二、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百三、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百四、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百五、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百六、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百七、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百八、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百九、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百十、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百十一、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百十二、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百十三、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百十四、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百十五、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百十六、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百十七、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百十八、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百十九、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百二十、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百二十一、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百二十二、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百二十三、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百二十四、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百二十五、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百二十六、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百二十七、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百二十八、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百二十九、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百三十、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百三十一、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百三十二、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百三十三、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百三十四、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百三十五、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百三十六、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百三十七、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百三十八、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百三十九、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百四十、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百四十一、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百四十二、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百四十三、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百四十四、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百四十五、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百四十六、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百四十七、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百四十八、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百四十九、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百五十、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百五十一、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百五十二、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百五十三、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百五十四、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百五十五、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百五十六、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百五十七、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百五十八、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百五十九、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百六十、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百六十一、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百六十二、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百六十三、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百六十四、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百六十五、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百六十六、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百六十七、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百六十八、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百六十九、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百七十、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百七十一、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百七十二、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百七十三、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百七十四、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百七十五、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百七十六、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百七十七、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百七十八、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百七十九、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百八十、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百八十一、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百八十二、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百八十三、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百八十四、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百八十五、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百八十六、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百八十七、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百八十八、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百八十九、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百九十、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百九十一、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百九十二、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百九十三、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百九十四、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百九十五、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百九十六、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百九十七、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百九十八、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、二百九十九、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百一、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百二、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百三、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百四、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百五、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百六、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百七、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百八、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百九、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百十、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百十一、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百十二、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百十三、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百十四、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百十五、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百十六、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百十七、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百十八、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百十九、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百二十、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百二十一、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百二十二、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百二十三、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百二十四、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百二十五、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百二十六、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百二十七、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百二十八、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百二十九、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百三十、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百三十一、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百三十二、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百三十三、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百三十四、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百三十五、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百三十六、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百三十七、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百三十八、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百三十九、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百四十、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百四十一、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百四十二、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百四十三、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百四十四、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百四十五、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百四十六、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百四十七、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百四十八、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百四十九、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百五十、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百五十一、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百五十二、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百五十三、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百五十四、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百五十五、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百五十六、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百五十七、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百五十八、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百五十九、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百六十、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百六十一、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百六十二、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百六十三、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百六十四、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百六十五、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百六十六、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百六十七、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百六十八、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百六十九、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百七十、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百七十一、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百七十二、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百七十三、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百七十四、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百七十五、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百七十六、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百七十七、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百七十八、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百七十九、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百八十、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百八十一、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百八十二、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百八十三、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百八十四、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百八十五、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百八十六、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百八十七、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百八十八、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百八十九、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百九十、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百九十一、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百九十二、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百九十三、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百九十四、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百九十五、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百九十六、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百九十七、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百九十八、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、三百九十九、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百一、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百二、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百三、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百四、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百五、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百六、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百七、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百八、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百九、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百十、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百十一、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百十二、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百十三、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百十四、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百十五、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百十六、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百十七、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百十八、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百十九、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百二十、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百二十一、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百二十二、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百二十三、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百二十四、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百二十五、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百二十六、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百二十七、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百二十八、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百二十九、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百三十、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百三十一、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百三十二、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百三十三、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百三十四、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百三十五、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百三十六、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百三十七、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百三十八、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百三十九、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百四十、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百四十一、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百四十二、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百四十三、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百四十四、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百四十五、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百四十六、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百四十七、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百四十八、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百四十九、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百五十、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百五十一、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百五十二、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百五十三、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百五十四、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百五十五、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百五十六、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百五十七、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百五十八、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百五十九、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百六十、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百六十一、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百六十二、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百六十三、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百六十四、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百六十五、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百六十六、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百六十七、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百六十八、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百六十九、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百七十、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百七十一、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百七十二、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百七十三、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百七十四、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百七十五、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百七十六、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百七十七、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百七十八、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百七十九、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百八十、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百八十一、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百八十二、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百八十三、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百八十四、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百八十五、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百八十六、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百八十七、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百八十八、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百八十九、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百九十、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百九十一、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百九十二、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百九十三、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百九十四、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百九十五、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百九十六、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百九十七、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百九十八、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、四百九十九、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百一、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百二、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百三、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百四、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百五、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百六、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百七、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百八、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百九、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百十、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百十一、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百十二、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百十三、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百十四、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百十五、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百十六、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百十七、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百十八、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百十九、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百二十、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百二十一、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百二十二、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百二十三、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百二十四、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百二十五、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百二十六、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百二十七、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百二十八、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百二十九、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百三十、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百三十一、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百三十二、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百三十三、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百三十四、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百三十五、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百三十六、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百三十七、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百三十八、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百三十九、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百四十、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百四十一、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百四十二、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百四十三、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百四十四、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百四十五、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百四十六、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百四十七、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百四十八、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百四十九、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百五十、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百五十一、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百五十二、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百五十三、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百五十四、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百五十五、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百五十六、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百五十七、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百五十八、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百五十九、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百六十、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百六十一、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百六十二、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百六十三、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百六十四、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百六十五、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百六十六、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百六十七、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百六十八、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百六十九、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百七十、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百七十一、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百七十二、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百七十三、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百七十四、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百七十五、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百七十六、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百七十七、ウエーブの線は耳の後にかゝらぬこと、五百七十八、ウエーブの線

臺灣總督後任問題 急速には運ぶまい

總選擧を終つての政界の事情錯綜に伴つて

前田利定子を推擧する理由

井上氏の東拓入り未定

【東京支局二十五日發本社特電】後任總督問題は、政界の動搖につれて、いよいよ錯綜の度を加へてゐるが、同時に文部行政の刷新問題も、

政界の一部では、後任總督は、文部大臣と兼任にしてはどうかといふ説もあるが、これは、文部大臣が、政黨人の場合には、實現困難である。

政黨人の後任總督としては、民政黨では、床次氏か、山本氏、政友會では、鈴木氏か、小泉氏、中立では、宇垣氏か、前田利定子爵、といふ順序になるが、

床次氏は、民政黨の分裂に際して、政友會に入黨したものであるから、政友會では、床次氏を、總督にやることは、絶對に、承知しないであらう。

山本氏は、民政黨の分裂に際して、政友會に入黨したものであるから、政友會では、山本氏を、總督にやることは、絶對に、承知しないであらう。

鈴木氏は、政友會の分裂に際して、政友會に入黨したものであるから、政友會では、鈴木氏を、總督にやることは、絶對に、承知しないであらう。

小泉氏は、政友會の分裂に際して、政友會に入黨したものであるから、政友會では、小泉氏を、總督にやることは、絶對に、承知しないであらう。

宇垣氏は、政友會の分裂に際して、政友會に入黨したものであるから、政友會では、宇垣氏を、總督にやることは、絶對に、承知しないであらう。

前田子爵は、政友會の分裂に際して、政友會に入黨したものであるから、政友會では、前田子爵を、總督にやることは、絶對に、承知しないであらう。

政友會では、床次氏を、總督にやることは、絶對に、承知しないであらう。

山本氏を、總督にやることは、絶對に、承知しないであらう。

鈴木氏を、總督にやることは、絶對に、承知しないであらう。

小泉氏を、總督にやることは、絶對に、承知しないであらう。

宇垣氏を、總督にやることは、絶對に、承知しないであらう。

漢文臺灣日日新報

張學良爲十九路軍刺戟
準備起兵奪還滿蒙

二十四日北平電。十九路軍刺激抵抗。張學良以下東北軍全體。決謂東北四省乃父遺產。未必不可能。即與國軍一決雌雄。自熱河進擊。已著手準備。

東北行政委員會
作新國家最後決定

二十四日奉天電。東北行政委員會。二十四日午後開催。出席委員。趙欣伯及熙洽。馬占山兩氏代表出席。會場警戒。極嚴。國旗。國家組織法。八權保障法。中央官制等。作最後的決定。該委員會。將于新國家成立時解散。

英獨立勞働黨聲明
務使日華戰爭中止
俾中國確保權利

二十四日倫敦電。英國獨立勞働黨全國會議。四日華盛頓總督府發表。英國獨立勞働黨全國會議。四日華盛頓總督府發表。英國獨立勞働黨全國會議。四日華盛頓總督府發表